



帯広畜産大学

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

イネ科牧草5種に対する放牧牛の選択採食パターン の研究

著者	本江 昭夫
雑誌名	畜産フィールド科学（帯広畜産大学畜産フィールド科学センター年報）
巻	3
ページ	20-20
発行年	2005-12-28
URL	http://id.nii.ac.jp/1588/00003926/

2 4 : イネ科牧草 5 種に対する放牧牛の選択採食パターンの研究

畜産科学科 食料生産科学講座 本江昭夫

メールアドレス ahongo@obihiro.ac.jp

研究の概要

【目的】嗜好性の異なるイネ科牧草 5 種をランダムに配置した放牧地において、放牧牛がどのような採食パターンを示すのかをあきらかにする。

【方法】

1) 使用草種 イネ科牧草 5 種

- | | | |
|---------------|-------|-----------|
| ・トールフェスク | (TF) | 品種: ホクリョウ |
| ・オーチャードグラス | (OG) | 品種: トヨミドリ |
| ・メドウフェスク | (MF) | 品種: バンディ |
| ・ペレニアルライグラス | (PRG) | 品種: フレンド |
| ・ケンタッキーブルーグラス | (KBG) | 品種: ケンブルー |

2) 草地造成

- ・2003 年 6 月 24 日、各草種 3kg/10a 播種。1 試験区(2×2m)あたり 12 g 播種。
- ・2003 年 7~9 月、3 回刈取り。

3) 草地管理

- ・2004 年 6 月 7 日刈取り、6 月 11 日、5cm の高さで刈りそろえた。
- ・2004 年 6 月 12 日、草地 8 号(12-9-12)を 30kg/720m² 散布。

【結果】

・放牧試験

- ・7 月 14-17 日、8 月 17-20 日、10 月 4-7 日に農場から借り受けた乾牛 1~3 頭を 1 時間放牧。
- ・放牧中の牛の行動は、原虫病センターの屋上からビデオで撮影した。
- ・放牧前と後に、50x50cm コドラートで収量調査を行い、牛の採食量を求めた。
- ・放牧後に、1 試験区あたりランダムに 20 枚の葉身を選び、草丈の測定。
- ・牧草サンプルを紙袋に入れ、風乾し、乾物重を測定した。
- ・牧草の破断強度の測定
- ・放牧後に 1 試験区あたりランダムに 5 本の分けつを採取、ビニール袋に入れ、冷蔵庫に保存。
- ・放牧後の草丈の結果を参考にして、採食部位とその下の破断強度を測定した。
- ・葉身のサンプルを保存液に入れ、断面積を測定した。